



1月号
(第419号)

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校
総務部



「一人ひとりが^{たすき}襷をつなぐ選手です」

教頭 野津義輝

私の正月の楽しみといえば「箱根駅伝」です。正式には「東京箱根間往復大学駅伝競走」と言い、東京・大手町の読売新聞社前から箱根・芦ノ湖間を往路・復路あわせて十区間、合計217.1kmを十人のランナーが母校の襷をかけ激走する学生の駅伝大会です。今年は一〇〇回目の大会で、青山学院大学が大会新記録で優勝し、まさに記念大会にふさわしい記録と記憶に残る大会でした。箱根駅伝には毎年違う感動があり、私にとってはスポーツというよりも、決して飽きることのないドラマなのです。

今年の記念すべき大会を私は現地で観戦しました。ただ令和二年の第九十六回大会の方が私には記念となった大会です。理由は初めて生で箱根駅伝を観戦したからです。母校が二十六年ぶりに出場するという事で応援に行っただけです（結果は残念ながら最下位でしたが）。コロナが流行る前の最後の大会で、大手町のスタート地点は応援の人で寸分の余地もありませんでした。スタート直前にベンチコートを脱いだ選手の、走るために鍛え上げられた肉体に驚きと神々しさを感じたのを今でも鮮やかに覚えています。午前八時、スタートの号砲が鳴ると、満を持して飛び出したランナーたちは私の視界からあっという間に姿を消しました。選手が走る姿を見たのは、ほんのわずかな時間でしたが私にとっては至福の時間でした。

最近のTVは映像技術の進歩で画像も美しく、臨場感を十分感じさせるものですが、やはり生での観戦は圧倒的に伝わってくるものが違います。TVの画面は平面ですから、例えば選手たちを正面から映す映像では、前を走る選手と後続の選手の距離感やスピード感が今ひとつわかりづらいです。実際、走っている選手を横から見たらそのスピードは想像を超えたもので、あのスピードで約20kmを走るのかと思うと、それまでの練習での努力や日常生活での節制が走りから伝わってきます。やはりスポーツにしても芸術にしても映像や紙媒体でなく本物に直に触れ、五感で感じることに、これに勝るものはないと思います。本物に触れて初めて本物のよさを知るといったところでしょうか。私は陸上に関しては全くの素人ですが、駅伝は自分に与えられた責任(区間)を果たしながらも、自分自身を走りによって表現するものだと考えています。選手一人ひとりはプライドと母校の誇りを胸に次のランナーに襷をつなぎます。学校も同じではないでしょうか？本校はまもなく創立八十五周年を迎えます。私たちの学校には次につなげていく伝統や魅力がたくさんあります。それは自分以外の誰かがつなぐものではありません。武庫川学院に集う全ての人々、生徒のみなさん、保護者等のみなさま、教職員など学校に関わる人全てが武庫川の襷をかけた選手です。創立一〇〇周年を見据えつつもそれはゴールではなく通過点の一つに過ぎません。私たちのゴールは果てしないのです。一人ひとりが学校の伝統や魅力を次に繋げる意識を持って、そして何よりも自分自身が楽しんでみながら、この一年も学校生活を走り続けてほしいです。今年も「チーム武庫川」として一丸となってみんなで学校を盛り上げていきましょう！

令和五年度 SSH成果発表会

「未来世代への提言」を創造する

本校は二〇一九年四月より第三期のスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けました。この第三期の研究開発テーマは「未来世代への提言」を指し、女性の科学技術人材を育成するプログラムの開発」としています。具体的には、三つのプログラムとSSH事業すべてにわたる評価システムの構築により構成されており、三つのプログラムとは「幅広い知識に裏付けられた『知』の高度化による科学的素養の育成」、「教科横断型カリキュラムの開発」、「グローバル科学技術人材の育成」を掲げています。十二月十六日(土)に本校で、SSH成果発表会を行いました。今年度はSSH指定校最終年度となり、これまでの締めくくりとなる成果発表会を迎えました。この五年間、多くの先生方に本校生徒の研究活動にご助言をいただきました。たくさんの方々に支えられてきたおかげで、今年の成果発表会では、発表して終わってしまうだけでなく、質疑応答も有意義なものになりました。運営指導委員会でいただいたお褒めの言葉を紹介します。

「毎年、こうして発表会へ来ていただき、生徒の発表を見てきていますが、年々生徒の研究力が上がってきており、さらに発表する姿勢も良くなってきているのを感じました。」プログラミング班の研究に関わらせていただき、生徒たちの吸収力の早さ、そして素直さにもいつも感心していました。指導することの楽しさを、武庫川女子の生徒さんを通じて、再確認させてもらっていました。「大学生や社会人になると、あらゆる場面で言葉を選んだり、コンプライアンスに関わらないか気にしなければならず、自由に自分の考えや気持ちを表現することは難しくなりますが、中学生だからこそ教育活動の一環として、これだけ自分のアイデアを表現することができるのは、本当に素晴らしいと思います。」生徒たちにとって、

この成果発表会は通過点であり、探究活動で培った力は多方面で発揮されています。さまざまな活躍をホームページで紹介していきますので、ご覧ください。



お知らせ

○高校三年創造サイエンスコース 卒業研究発表会
日時 2月3日(土) 8時45分～12時35分(予定)
場所 本校図書館棟AV1
○SSH公開講演会
「太陽活動と天気との関わり」に迫る」

講師 武蔵野美術大学 教養文化・学芸員課程研究室
教授 宮原ひろ子氏
日時 2月3日(土) 14時00分～16時00分
場所 武庫川女子大学 公江記念講堂

○GEC・グローバル発表会
日時 2月17日(土) 14時～16時
場所 武庫川女子大学 公江記念講堂

内容

中学グローバル研修(タイ)報告
高校グローバル研修(オーストラリア)報告
高校2年創造グローバルコースGEC系 発表
高校3年創造グローバルコースGEC系 発表

オーケストラ部

第三十二回記念定期演奏会

十二月十七日(日)に、武庫川女子大学中央キャンパス公江記念講堂で、「第三十二回定期演奏会」が開催されました。

第一部に吹奏楽、第二部に弦楽合奏、そして第三部に管弦楽の演奏がありました。今年初めて副顧問の二名の先生方も一緒に演奏する姿もあり、会場はあたたかい雰囲気になりました。

全ての演奏を終え、部長・副部長は同級生の高校生三年生に三年間・六年間の感謝の気持ちをメッセージとして伝えました。そして、同級生だけでなく、後輩、先生方、そして保護者の方々、これまで支えてくれた方々へ感謝の意を述べました。

部長が「次が最後の演奏です！」と言い、演奏の準備へ向かおうとした時、そこには後輩たちが花を持って並んでいました。後輩たちから高校三年生の先輩へ向けて、引退のプレゼントとして花束が渡されたあと、「嵐/愛を叫べ」を演奏しました。

お越しいただいた方々、この一年オーケストラ部を支えてくださった皆さま、ありがとうございました。



オーストラリアから研修団がやってきました

十二月十七日(日)～十九日(火)の三日間、オーストラリア・クイーンズランド州を拠点としている体操チームである DELTA GYMNASTICS の高校生十三名が来校しました。



本校の提携校であるセント・ヒルダス校の生徒も多く所属していることから、今回の来校が実現しました。

研修生は武庫川女子大学建築学部のキャンパスでもある甲子園会館を見学したり、本校で茶道体験をしました。そして、器械体操部との合同練習を行いました。

ニュージージーランドから交換留学生がやってきました

一月二十二日(月)～二十日(土)の間、ニュージージーランド・クライストチャーチ郊外にあるランギオラ校より二名の交換留学生がやってきました。今年度最後の国際交流の機会となります。生徒の皆さんは、校内で留学生を見かけたら、積極的に話しかけてみましょう。

マロニエ賞授賞式へ

十二月二十二日(金)に兵庫県公館で行われたマロニエ賞授賞式に、カヌー部の杉本深寛さん(高一)と、コーラス部の山田朱音さん(高三) 四方香緒里さん(中三)が出席しました。

マロニエ賞とは、権威ある大会で優秀な成績をあげ、兵庫県私立の評価を著しく高めた児童生徒等に贈られるものです。またマロニエとは兵庫県になじみの深い木である「トチノキ」のフランス名であり、花言葉である「天分・天才」が、文化・スポーツ等の分野で活躍した生徒等を讃える表彰の名称にふさわしいということで、名称の由来となっています。

カヌー部の杉本さんは、2023アジアパシフィックスプリントカップにおいて、女子K1(U16)500m・200mで優勝したこと、中高コーラス部は、第76回全日本合唱コンクール全国大会で金賞を受賞し、加えて高校生は香川県教育委員会教

育長賞を受賞したことが、今回マロニエ賞を授賞する理由として挙げられています。

授賞式では全部で三十八個人・十二団体が表彰されており、各校スポーツや音楽、学問系のオリンピッククなど、さまざまな分野での活躍を讃えていました。

式の最後にはこの全個人・団体を代表して、山田朱音さん(高校コーラス部長)が挨拶をし、全国大会までの思い出やこれからの意気込みを語りました。



第十二回 親子のふれあいコンサート

十一月二十三日(木・祝)に貝塚市立北小学校で中高コーラス部が演奏しました。

コーラス部員のうち、二名がこの北小学校の卒業生であり、中学校からコーラス部に入部し、今も高校コーラス部員として活躍しています。

四十分間のコンサートの、今年度のコンクール曲やミュージカル風のメドレー、クリスマスメドレーなど、幅広いジャンルの曲をお届けしました。

クリスマスメドレーでは一緒に歌ってくれた小学生もいて、あとから「高い声がすごかった」「体にむちゃくちゃ響いた」などの感想もいただくことができ、とても楽しく貴重な経験をさせていただけました。

北小学校卒業生である二名の部員も、母校で演奏することができて、とても嬉しかったと喜んでいました。

このコンサートのためにご尽力くださった貝塚市立北小学校のPTAの皆さま・先生方、本当にありがとうございました。本番当日もたくさんのお心遣いをいただき、コンサートを楽しく終えることができました。

あまよう特別支援学校と交流しました

十二月二十日(水)午前中、あまよう特別支援学校と本校オーケストラ部・ボランティア部との交流を行いました。

今回で、あまよう特別支援学校との交流も二十回目を迎



2月行事予定

Table with 2 columns: Date (日曜) and Event (行事予定). It lists various school activities for February, including reading clubs, entrance exams, sports events, and cultural activities.

えました。昨年度までの三年間、コロナ禍の影響で対面で交流することができず、プレゼント交換のみの交流でしたが、今年はようやく学校を訪れて、交流ができました。

オーケストラ部は、弦楽アンサンブルの演奏をお届けしました。演奏曲は「上を向いて歩こう」、「となりのトトロ」、「リトルマーメイド」メドレー、「そりすべり」の四曲でした。

小学4・5年生対象 プログラミング体験会

初めてでも楽しく簡単なゲームをつくることのできるよ!

- 日時: 2月17日(土) 12時45分~14時 (受付12時30分)
場所: 本校 図書館棟3階 LL1教室
対象: 小学4・5年生女子児童(保護者同伴)
定員: 最大24組
内容: 基本操作とミニゲーム作成

小学生・中学生対象 部活動体験会・見学会

日時: 2月17日(土) 14時~15時半

・場所: 本校各施設
・対象: 小学女子児童(保護者同伴)及び中学女子生徒
※体験できる部活動や内容の詳細、お申し込みについては、ホームページをご覧ください。部活動によって集合時間・場所が異なります。

☆様々な分野での活躍☆

- 書道部: 第56回私学の書展 さんちかホール(11/16~21) 兵庫県知事賞
特別賞(大阪教材社賞) 糸山 紗弓(高3) 富田 紗矢(中2)
柔道部: 第46回全国高校柔道選手権大会兵庫県予選(12/9) グリーンアリーナ神戸
57kg級 優勝 松井 芽央(高2)
全国高等学校柔道選手権大会に出場します

その他の分野

- 人権作文コンテスト兵庫大会地区予選(12/4) 銅賞 笹川 怜(中2)
バトントワリング部: 第44回関西中学校高等学校バトントワリング大会 兵庫県立総合体育館(12/24) 金賞 高校チーム 中学校Aチーム・中学校Bチーム